

アート & カルチャーでねりまをもっと楽しく

# NERICUL

(公財)練馬区文化振興協会情報誌 [ねりかる] vol.17

2020 Spring



特集

施設連携事業

## ショパン!ショパン!ショパン!

練馬文化センター・大泉学園ゆめりあホール  
石神井公園ふるさと文化館・練馬区立美術館  
2020 (令和2) 年度 年間スケジュール



# ショパン! ショパン! ショパン!



主催：公益財団法人練馬区文化振興協会 後援：ポーランド広報文化センター 期間：2020(令和2)年4月～6月 会場：練馬区立美術館、練馬文化センター、石神井公園ふるさと文化館分室

ポーランドを代表する作曲家フリデリク・ショパン(1810～1849)を様々な視点から再考する展覧会「ショパン—200年の肖像」の開催にあわせて、ショパンをテーマにした様々なイベントを練馬区内の文化施設で開催します。ここでは展覧会の内容(第1～5楽章の5部構成)とともに各施設で行うイベントの一部をご紹介します。

## 展覧会

日本・ポーランド国交樹立100周年記念 **ショパン—200年の肖像**  
4月26日(日)～6月28日(日) 練馬区立美術館



## 第1楽章 わたしたちのショパン

ショパンからインスピレーションを得た造形作品は、数多く制作されています。とりわけショパンの母国ポーランドの芸術家たちへの影響は大きく、彼の生涯や楽曲をイメージ・ソースとしたコンテンポラリーアートは、不変的なショパン芸術の偉大さを改めて感じさせると同時に、新しいショパン・イメージを提示します。この楽章では、国立フリデリク・ショパン研究所(ワルシャワ)所蔵のショパンに纏わる美術作品を中心に、私たちに様々なショパン像を提示します。

《国立ワジェンキ公園のフリデリク・ショパン記念像胸像》  
ヴァツワフ・シマノフスキ原作(1926年頃) エウゲニウシ・ジャルコフスキ鑄造 1968年 緑青・ブロンズ  
国立フリデリク・ショパン研究所付属フリデリク・ショパン博物館蔵  
Photo: The Fryderyk Chopin Institute

## 特集展示

### 音楽とことば

4月18日(土)～6月28日(日) 石神井公園ふるさと文化館分室

作家たちはショパンなどの音楽をどのようにことばで表現してきたのでしょうか。練馬区ゆかりのフランス文学者で文芸評論家・音楽評論家の粟津則雄(1927～)、時代小説家でクラシック音楽評論の数々に今もファンの多い五味康祐(1921～1980)などが描いた評論やエッセイなどを紹介するとともに、自筆原稿や書籍、パネルなどにより音楽を伝えることばの世界をさぐる小展示を行います。粟津則雄氏による「ショパンについて」は今回の展示のための書き下ろしです。あわせて関連コンサートも開催します。



五味康祐自筆資料「LP帳」1953年3月8日聴いたLPの記録を、電話帳を利用して記したものとされます(芥川賞受賞直後の頃)。NO.35には、リパッティの演奏によるショパンの「ワルツ集」が記載されており、この盤は、現在も五味レコードコレクションにあります。



## 第2楽章 ショパンを育んだ都市ワルシャワ

ショパンは1810年にポーランド・ワルシャワで生まれ、1830年までの20年間を過ごしました。フランス出身の父ミコワイとポーランド人の母ユスティナ、そして姉妹たちに囲まれた生活の中で、病弱ながらもフリデリクは生まれもった音楽的才能を育てていきます。ここでは、当時のワルシャワの様子や彼を取り巻く人物などから、ショパンのワルシャワ時代を紐解きます。

《ヴィエジュボからのポーランド軍の帰還》 マルチン・ザレスキ 1831年 油彩・カンヴァス ワルシャワ国立博物館蔵  
© Ligier Piotr / Muzeum Narodowe w Warszawie

## コンサート

### 練馬区演奏家協会コンサート ショパンの想い～祖国への愛

6月20日(土) 14:00 開演 練馬文化センター小ホール

幼少期の20年間をワルシャワで過ごし、民族音楽にふれるなどポーランド各地を旅した経験は、ショパンの人格形成や音楽観に大きな影響を与えました。彼の遺言に従い、心臓だけはワルシャワに持ち帰られ、聖十字架教会に眠っています。ショパンの想い、祖国への愛をピアノデュオ中井恒仁&武田美和子が奏めます。





《アリ・シェフェール邸（パリ、シャブタル通り16番）の小さなアトリエ》  
アリ・シヨハネス・ランメ 1850年 油彩・カンヴァス、  
ドルトレヒト美術館蔵 Dordrechts Museum

## 第3楽章 華開くパリのショパン

ショパンにとってパリは半生を過ごした終焉の地であると共に、芸術家として大きく開花した都市でもあります。1831年パリへと到着したショパンは、当時の美術思潮であるロマン主義を牽引する芸術家のひとりとして活躍します。画家ドラクロワやアリ・シェフェールなどの芸術家たちと親交を深める中で、小説家のジョルジュ・サンドと出会い恋に落ちますが、彼らの悲しい結末は有名です。この楽章では、19世紀の華やかなりし都市パリとアリ・シェフェールによるショパンの肖像などを中心に、パリのショパンを振り返ります。

### 映画

#### 音楽映画傑作選

5月9日(土) 13:00 開映 練馬文化センター小ホール

若きショパンの愛と青春を描いたドイツ映画『別れの曲』ほかを上映します。日本では1935年フランス語版が公開され、劇中使用されたショパンの名曲たちの中でも、メインテーマとして扱われた「練習曲第3番 ホ長調 op.10-3」の美しき旋律は多くの人を魅了しました。映画の邦題『別れの曲』にちなんでその曲は、「別れの曲」として愛されるようになりました。80年以上前に多くの人が涙した“ピアノの詩人”の姿を、その音楽とともにご堪能ください。



『別れの曲』 提供：T&K テレフィルム

## 第4楽章 真実のショパン — 楽譜、手紙 —

ショパンは日記や手記などを残しておらず、彼の自筆のものと言えば「手紙」と「楽譜」です。国立フリデリク・ショパン研究所には、その貴重な手紙と自筆譜が所蔵されています。ポーランドの至宝と言われるショパンの手紙と自筆譜を、彼のデスマスクや所持品などと紹介することで、ショパンを間近に感じることができるでしょう。

《エチュード へ長調 作品10-8》自筆譜（製版用）フリデリク・ショパン 1833年以前 インク・紙 国立フリデリク・ショパン研究所付属フリデリク・ショパン博物館蔵 Photo: The Fryderyk Chopin Institute

### コンサート

#### 辻井伸行ピアノ・リサイタル オール・ショパン

6月2日(火) 19:00 開演 練馬文化センター大ホール

今回演奏する「英雄ポロネーズ」(ポロネーズ第6番変イ長調 op.53) について、辻井伸行は「英雄ポロネーズは、僕がピアノを始めるきっかけとなった作品です。(中略) ショパンは僕にとって原点です。」\*と語っています。「英雄ポロネーズ」をはじめ、辻井伸行による極上のオール・ショパンプログラムをお届けします。

\*「辻井伸行×パリ〜ショパンが舞い降りた夜〜」2017年12月17日、BSフジ



辻井伸行 ©Yuji Hori

## 第5楽章 ショパン国際ピアノコンクール

毎回、日本からも多くの参加者を出す「ショパン国際ピアノコンクール」は、最も知られた国際的なコンクールであることはさることながら、現存する最古の音楽コンクールでもあります。このコンクールにちなんだメダルやポスターが作成されていますが、とりわけポスターにはグラフィックに定評のあるポーランドの芸術的力が発揮されています。ここでは、同コンクールについて知見を深めると同時に、圧巻のグラフィックを通してコンクールのエネルギーを感じ取れます。

### コンサート

#### 横山幸雄プロデュース ピアノ貴公子たちのショパン

6月27日(土) 15:00開演 練馬文化センター大ホール

1990年開催の第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞した横山幸雄と、今をときめく若手ピアニスト金子三勇士・實川風・牛田智大によるコンサート。展覧会のフィナーレにふさわしい、一夜限りの豪華な競演をお届けします。



横山幸雄 ©アルファイン  
金子三勇士 ©Ayako Yamamoto  
實川風 ©Yuki Ohara  
牛田智大 ©Aniga Terasawa

### 練馬区立美術館にて「スペシャル・コンサート」を開催!!



#### ショパンを講えて

4月26日(日) 18:20開演

川口成彦

(第1回ショパン国際ピアノコンクール 第2位・2018年)

#### ピアノの詩人ショパン〜その39年の生涯〜

5月17日(日) 18:20開演

高橋多佳子

(第12回ショパン国際ピアノコンクール入賞・1990年)



高橋多佳子 ©Shinichiro Saigo

## 企画展「スポーツの祭典1964—オリンピックと練馬—」

4月18日(土)～6月10日(水)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせ、近代以降のスポーツ文化が定着していく歴史を練馬区域の事例を示しながら追っていきます。また、オリンピックと練馬区域の人々の関わりや、1964(昭和39)年の第18回東京オリンピックの盛り上がりを紹介します。



練馬区へ聖火が到着するのを待つ走者たち 練馬区蔵



オリンピック記念のソノシート 館蔵

**ココがおすすめ!**  
練馬区とオリンピックの意外な関わりを知ることができます。

時間 9:00～18:00

休館日 月曜日

※ただし5月4日(月・祝)は開館  
5月7日(木)は休館

観覧料 無料

講演会「暮らしを振り返る—東京・練馬の生活革命—」

講師：松井かおる(東京都江戸東京博物館学芸員)

5月10日(日)14:00～16:00 / ふるさと文化館

1階多目的会議室 / 定員 90名 / 参加費 無料

/ 申込 4月11日(土)より電話申込

関連イベント

講演会「オリンピックと東京の変容」

講師：初田香成(工学院大学建築学部准教授)

5月17日(日)14:00～15:30 / ふるさと文化館

1階多目的会議室 / 定員 90名 / 参加費 無料

/ 申込 4月11日(土)より電話申込

関連イベント

〈関連イベントの申込先〉石神井公園ふるさと文化館 03-3996-4060 (9:00～18:00)

## 企画展「終戦75年 銃後の生活」(仮)

6月20日(土)～8月15日(土) 観覧料:無料

戦後75年を迎え、戦時中の記憶を調査できる機会が年々減っていることから、練馬区域の戦時中の暮らしの記録を展示します。



防空頭巾 館蔵

## 開館10周年記念特別展「大根展～練馬大根の今昔」(仮)

9月12日(土)～11月1日(日) 観覧料:一般300円ほか

練馬区域の特産物であり、江戸・東京の食を支えた練馬大根の歴史や、現在行われている練馬大根の保存・育成に関する事業を紹介합니다。



本草図譜 文政13(1830)～天保15(1844)年 館蔵

## 特別展「昭和のこどもたち」(仮)

11月28日(土)～2021(令和3)年1月16日(土) 観覧料:一般300円ほか

人気人形作家・石井美千子による、戦後から昭和30年代を中心にした「昭和のくらし」を人形で再現する展覧会です。

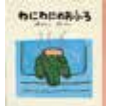


©2019 石井美千子 JAPAN 写真・山本邦彦

## 特別展「ワニの『わにわに』絵本シリーズ展」(仮)

1月23日(土)～3月21日(日) 観覧料:一般300円ほか

子どもたちに人気の絵本「わにわに」シリーズ(絵・山口マオ/文・小風さち)を原画や絵本、オブジェなどの展示により紹介します。



『わにわにのおふろ』小風さち文 山口マオ絵 福音館書店 2000年

## 常設展示

観覧料:無料 練馬区の歴史、民族、伝統文化、アニメーションに関する展示を行っています。

## 石神井公園ふるさと文化館 分室

### 分室特集展示「音楽とことば」

4月18日(土)～6月28日(日)

練馬区立美術館での展覧会「ショパン—200年の肖像」に連携して行う小展示です。文学者は、音楽の世界をことばでどのように表現してきたのでしょうか。フランス文学者で文芸評論家・音楽評論家の粟津則雄(1927～)、時代小説家でクラシック音楽評論の数々に今もファンの多い五味康祐(1921～1980)の著作や、自筆原稿・著書などをご紹介します、音楽とことばの響き合う豊かな世界をさぐります。

時間 9:00～18:00

休室日 月曜日

※ただし5月4日(月・祝)は開室  
5月7日(木)は休室

観覧料 無料



五味康祐自筆資料「LP帳」1953年3月8日  
電話帳を利用した、聴いたレコードの記録と思われる。まだオーディオの買えなかった、芥川賞受賞直後のもの。

**ココがおすすめ!**

辛口評論で有名な五味康祐がショパンの「強さ」を絶賛!読んでみてください。

### 練馬区ゆかりの文化人に関する展示室

檀一雄の書斎再現をはじめ、区ゆかりの文化人42人の紹介・松本清張・木島始・区ゆかりの漫画家の作品の展示のほか、親子で絵本を楽しめるコーナーを設置しています。



松本清張 色紙 自画像

### 五味康祐 資料展示室 オーディオ展示室

区ゆかりの時代小説家、今年没後40年となる五味康祐の愛した貴重なオーディオ装置でレコードコンサートを楽しめる空間のほか、関連資料の展示を行っています。



五味康祐オーディオ展示室

## 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパン—200年の肖像

4月26日(日)～6月28日(日)

日本とポーランドの国交樹立100周年を記念し、ポーランドが誇る作曲家フリデリク・ショパン(1810～49)を紹介いたします。本展では、ポーランドから招来した貴重な自筆譜や手紙のほか、様々な美術作品に基づき、ショパンの人間像と彼の創造した音楽を見つめ直します。

**時間** 10:00～18:00  
(入館は17:30まで)

**休館日** 月曜日  
※ただし5月4日(月・祝)は開館、  
5月7日(木)は休館

**観覧料** 一般1,000円、高校・  
大学生および65～74歳  
800円、中学生以下  
および75歳以上無料  
(その他各種割引あり)

共催：国立フリデリク・ショパン研究所/後援：駐日ポーランド共和国大使館、日本ショパン協会/特別協力：ポーランド広報文化センター、ワルシャワ国立博物館、ドルトレヒト美術館/協力：LOTポーランド航空、KLMオランダ航空、大阪音楽大学、講談社、株式会社河合楽器製作所、株式会社ヤマハミュージックジャパン/企画協力：神戸新聞社、ROBINS



左/《アリ・シェフェール邸(パリ、シャブタル通り16番)の小さなアトリエ》アリ・ヨハネス・ランメ 1850年 油彩・カンヴァス ドルトレヒト美術館蔵 Dordrechts Museum  
右/《フリデリク・ショパンの肖像》アリ・シェフェール 1847年 油彩・カンヴァス ドルトレヒト美術館蔵 Dordrechts Museum



### ココがおすすめ!

日本初公開のショパンの自筆譜や手紙などを間近で見られるまたない機会です!

### 学芸員によるギャラリートーク

講師：当館学芸員

5月13日(水)・6月4日(木) 15:00～15:30/展示室  
/参加費 無料※当日の観覧券が必要/申込不要



## 練馬区立美術館開館35周年記念展 Re construction 再構築 プレ展示

7月8日(水)～8月2日(日)

観覧料:無料

8月9日から始まる「練馬区立美術館開館35周年記念展 Re construction 再構築」を前に、参加作家の制作過程を、公開制作、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。(2階展示室のみ)



松岡映丘《さつきまつ浜村》1928年 絹本着色、六曲一隻 練馬区立美術館蔵

## 練馬区立美術館開館35周年記念展 Re construction 再構築

8月9日(日)～9月27日(日)

観覧料:一般800円ほか

「色」「触覚」「空間」「身体」のテーマのもとに、当館の所蔵品を起点として制作された4名の作家の新作を、所蔵品とともに展示します。作品の再構築とともに、美術館における作品鑑賞の再構築にも広がる展覧会です。

## 式場隆三郎：脳室反射鏡

10月11日(日)  
～12月6日(日)

観覧料:一般1,000円ほか

民藝運動、ゴッホの普及、山下清の先駆的評価で知られる精神科医式場隆三郎(1898～1965)の多彩な活動の全貌を探ります。



式場隆三郎肖像写真

## 練馬区立美術館開館35周年記念展 35年の35点 コレクションで振り返る練馬区立美術館

12月12日(土)～  
2021(令和3)年2月14日(日)

観覧料:無料

当館は開館以来様々な作品収集を行い、現在2600件余りのコレクションを形成しています。当館の展覧会の歴史を辿ることで、コレクションの概要を紹介します。(2階展示室のみ)



木村荘八《静物》1919年 油彩、カンヴァス 練馬区立美術館蔵

## 電線絵画(仮)

2021(令和3)年2月28日(日)  
～4月18日(日)

観覧料:一般1,000円ほか

オリンピック、パラリンピックに向けて東京の電柱の地中化が進む中、明治から現代に至るまでの電線、電柱が果たした役割と、作品化された意味を検証し読み解いていく展覧会。



小林清親《常盤橋内紙幣寮之図》1880年 横大判錦絵 個人蔵(練馬区立美術館寄託)

## つながる和太鼓フェスティバル2020

4月18日(土)・19日(日) 練馬文化センター大ホール ほか

和太鼓を楽しむ2日間!日本の伝統芸能・和太鼓を満喫しよう!日本語字幕タブレット貸出、点字プログラム他鑑賞サポートも充実。



## 練馬音楽コンクール&受賞記念コンサート

声楽部門、木管楽器部門、弦楽器部門

コンクール予選(非公開)5月22日(金)～24日(日)  
コンクール本選6月26日(金)～28日(日)  
受賞記念コンサート11月28日(土)  
練馬文化センター小ホール

世界に羽ばたく新進音楽家を発掘するコンクール。受賞記念コンサートでは、東京フィルハーモニー交響楽団と共演します。

令和2年度(公社)全国公立文化施設協会  
主催 東コース 製作◇松竹

## 松竹大歌舞伎

5月26日(火) 練馬文化センター大ホール

2016年に親子4人同時襲名が話題を呼んだ八代目中村芝翫親子が登場。演目は「義経千本桜 川連法眼館の場」と舞踊「連獅子」。



「連獅子」中村芝翫 写真提供・松竹

## 練馬区立美術館「ショパン—200年の肖像」展 開催記念

### 横山幸雄プロデュース

ピアノ貴公子たちのショパン

6月27日(土) 練馬文化センター大ホール

横山幸雄と今をとときめく若手ピアニスト・金子三勇士、實川風、牛田智大が練馬に集結。この日だけのスペシャルな競演!



横山幸雄 ©アールアンフィニ

## イッセー尾形の妄ソ—劇場

文豪シリーズその3

7月11日(土)・12日(日)

練馬文化センター小ホール

文豪たちの名作をカバーするイッセー尾形の一人芝居、文豪シリーズの第3弾!



## みんなであそぼ! 森と劇場のサーカスフェスタ

10月31日(土) 小ホール、リハーサル室、平成つつじ公園 ほか

練馬文化センターが一日遊べるパフォーマンス広場に!サーカスショーや大道芸、ワークショップの他、無料で楽しめるプログラムもいっぱい。



2019年の様子

## ねりパフォ 2021

2021(令和3)年2月7日(日) 練馬文化センター大ホール

練馬発の若者たちで作り上げる、音楽・ダンス・パフォーマンスのイベント!本格的なステージのもと、若者たちがその腕前を披露します!



## まちなかコンサート

年7回開催予定 区内各所

気軽に本格的な音楽を楽しめる「まちなかコンサート」。公園や駅前など、練馬の各地で音楽をお届けします。



まちなかコンサート

## 2020(令和2)年

日程	内容	会場
4/8 (水)	まごむこ ろくじぞう 万作・萬斎狂言の会～孫智・六地藏～	練馬文化センター小ホール
4/25 (土)	おしりたんていミュージカル	練馬文化センター大ホール
4/26 (日)	～むらさきふじんのあんごうじけん～	
5/9 (土)	練馬区立美術館「ショパン—200年の肖像」展 開催記念 音楽映画名作選	練馬文化センター小ホール
5/10 (日)	武蔵野音楽大学連携事業 イリヤ・イーティン ピアノリサイタル	練馬文化センター小ホール
5/15 (金)	第144回練馬区民寄席～さん喬・圓太郎・駒治～	練馬文化センター小ホール
6/2 (火)	練馬区立美術館「ショパン—200年の肖像」展 開催記念 辻井伸行ピアノ・リサイタル オール・ショパン	練馬文化センター大ホール
6/5 (金)	小椋佳「歌談の会」	練馬文化センター大ホール

6/20 (土)	練馬区演奏家協会コンサート ショパンの想い～祖国への愛	練馬文化センター小ホール
7/4 (土)	東京ニューシティ管弦楽団 第3回練馬定期演奏会	練馬文化センター大ホール
7/5 (日)	山崎バニラの活弁ゆめ絵巻2020 ～スポーツ・サイレント・コメディ	大泉学園ゆめりあホール
8/22 (土)	第15回ゆめりあ若手寄席	大泉学園ゆめりあホール
9/11 (金)	練馬区演奏家協会コンサート	大泉学園ゆめりあホール
9/12 (土)	ゆめりあJAZZ vol.28	大泉学園ゆめりあホール
10/10 (土)	厳選! ヴィルトゥオーゾシリーズ vol.4 アレッサンドロ・ベヴェラリ クラリネット・リサイタル	練馬文化センター小ホール
10/23 (金)	第145回練馬区民寄席	練馬文化センター小ホール
11/23 (月・祝)	劇団M.M.Cミュージカル「星の王子さま」小中学生参加公演	練馬文化センター小ホール
12/12 (土)	よしもと大笑いライブ in 練馬 (仮)	練馬文化センター大ホール
12/17 (木)	岩波ホール発 白石加代子「百物語」シリーズ アンコール上演 第三弾	練馬文化センター小ホール
12/20 (日)	ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ「くるみ割り人形」	練馬文化センター大ホール

## 2021 (令和3) 年

1/9 (土)	ローマ・イタリア管弦楽団 映画音楽名曲選	練馬文化センター大ホール
1/17 (日)	第16回ゆめりあ若手寄席	大泉学園ゆめりあホール
1/30 (土)	第8回全日本ポップス&ジャズバンドグランプリ大会	練馬文化センター大ホール
1/31 (日)		
2/11 (木・祝)	ねりぶんJAZZ	練馬文化センター小ホール
2/26 (金)	フレッシュ名曲コンサート ～イタリアオペラの世界～	練馬文化センター大ホール
3/5 (金)	練馬区演奏家協会コンサート	大泉学園ゆめりあホール
3/21 (日)	練馬区ジュニア・オーケストラ 第36回定期演奏会	練馬文化センター大ホール
3月	避難訓練コンサート	練馬文化センター大ホール
未定	バックステージツアー	練馬文化センター大ホール

ワンコイン・コンサート	4/29 (水・祝) 第62回ワンコイン・コンサート ROCOこどもジャズ	練馬文化センター小ホール
	7/18(土)、10/17(土)、1/16(土) 第63・64・65回ワンコイン・コンサート	大泉学園ゆめりあホール

その他会場 Other	毎週第3水曜日 (都合により日程変更、中止になる場合あり)	アトリウムミニステージ	練馬区役所1階アトリウム
	年6回開催予定	親子で楽しむミュージックキャラバン	区内各所
	7月～8月	夏休みは弦楽器にふれてみよう	生涯学習センター 分館

各公演の詳細は、ホームページ等でご確認ください。掲載情報は、2020 (令和2) 年3月13日現在のものとなります。今後、追加等になる場合があります。

チケット  
購入方法

## 【電話】03-3948-9000

10:00～17:00 / 練馬文化センター予約電話  
※チケットは、窓口や郵便振込でお引換えができます。

【窓口】 ● 練馬文化センター1階チケットカウンター  
● 大泉学園ゆめりあホール5階事務室受付  
10:00～20:00 / ※予約受付開始日の翌日10:00から、  
窓口で購入およびお引換えができます。

【インターネット】 <https://www.neribun.or.jp>

事前に利用登録が必要です。(無料)

①協会ホームページの「インターネットチケット販売」ボタンをクリック。  
②「利用登録」から必要事項を入力してください。

●予約方法 登録したメールアドレス、パスワードで  
「ログイン」するとチケット予約が行えます。  
※チケットは、セブン・イレブンや郵送などで受取れます。





☎ 03-5372-2572

[住所] 練馬区石神井台1-33-44  
石神井松の風文化公園管理棟内  
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分)

[FAX] 050-3352-2983

[開室時間] 9:00~18:00

[休室日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日

[料金] 観覧無料



☎ 03-3993-3311

[住所] 練馬区練馬1-17-37  
(西武池袋線・西武有楽町線・  
都営大江戸線「練馬」駅下車、  
徒歩1分)

[FAX] 03-3991-9666

[休館日] 年末年始  
(保守点検日は、一部施設のご利用ができません)



☎ 03-5947-2351

[住所] 練馬区東大泉1-29-1  
(西武池袋線「大泉学園」駅  
下車、徒歩1分)

[FAX] 03-5905-2021

[休館日] 年末年始  
(保守点検日は、一部施設の  
ご利用ができません)



☎ 03-3996-4060

[住所] 練馬区石神井町5-12-16  
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分)

[FAX] 03-3996-4061

[開館時間] 9:00~18:00 (会議室の利用は21:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、  
年末年始、臨時休館日

[料金] 常設展示は観覧無料(特別展は有料)



☎ 03-3577-1821

[住所] 練馬区貫井1-36-16  
(西武池袋線「中村橋」駅  
下車、徒歩3分)

[開館時間] 10:00~18:00  
(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)  
年末年始、展示替えなど  
による準備期間中

[料金] 展覧会により異なる



## 公益財団法人 練馬区文化振興協会 友の会 会員募集中!

年会費:2,500円(税込)  
会員期間:入会月から1年間

公益財団法人練馬区文化振興協会が管理運営している施設の公演や展覧会などがお得に楽しめます!

特典  
いっぱい♪

1 情報誌を毎月郵送

2 チケット10%オフ

・練馬文化センター  
・大泉学園ゆめりあホール

3 チケット優先予約

・練馬文化センター

4 展覧会にご招待

・石神井公園ふるさと文化館  
・練馬区立美術館

5 会員限定イベント

・石神井公園ふるさと文化館  
・練馬区立美術館

\*各特典には条件があります。

入会申込

窓口

郵便振込

インターネット

いずれのお手続きでも料金は2,500円です。

\*郵便振込の場合、別途振込手数料がかかります。

\*各特典や入会方法など、詳しくは  
<https://www.neribun.or.jp/>をご覧ください。

